

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地3必

科目名 (英文名)	地理実習Ⅲ Field Studies Ⅲ	2単位 (集中)	(ふりがな) 担当者	の 野	ぐち 口	やす 泰	お 生
授業のねらいと概要: 3年次に履修する必修の野外実習科目で、3泊4日で行われる。地理学演習Ⅰ(ゼミ)の履修者を対象として行われる。最近の調査地は、高山、小名浜、福島、銚子、水戸、松本などで、現地では学生が自ら設定したテーマについて調査する。また、気象官署等の訪問や気象観測も含まれる。事前に相当の作業が求められ、地理学演習Ⅰと切り離せない。							
教科書と参考図書:							
評価法: 「卒論の手引」に沿って作成したレポートの提出による。各ゼミの代表が12月の国土館地理学会で研究成果を発表することになっている。レポートの未提出者は、次年度自費による再履修となる。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備
	<p>これまで目的地には気象官署のある場所が選ばれてきた。巡検に先立って、気象官署の観測開始以来のデジタルデータを各人に割り当て、季節別・月別の永年変化をパソコンでグラフ化させ、問題点を指摘させている。現地では、これらの問題点を念頭に調査をすることになる。</p> <p>また、早朝と晩の都市気温観測も例年実施し、観測の手順、観測機器の扱い方、補正のしかた、分布図の描き方を学習する。</p> <p>年度によって、それぞれ研究テーマごとに学生をグループ分けして、班ごとに計画・行動させる方法と、各自別々のテーマで行動させる方法がある。</p>